

令和 2年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	224,972,407円(令和2年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R02 上半期	R01 下半期	R01 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		22,236	90,679	81,752	106,812	89,404
各室稼働状況(%)	大研修室	54.0	73.7	80.8	88.8	81.4
	中研修室	55.6	84.2	88.1	93.5	92.7
	研修室50	70.2	81.3	85.3	91.8	91.0
	研修室30	87.1	87.1	96.0	97.6	95.5
	小研修室1	76.6	87.1	96.6	98.8	98.3
	小研修室2	60.5	88.3	96.6	96.5	96.6
	小研修室3	68.5	84.8	97.2	95.9	95.5
	小研修室4	72.6	86.5	94.9	99.4	98.3
	和室研修室1	6.5	24.0	28.2	44.1	26.0
	和室研修室2	58.1	78.4	94.4	95.9	93.2
	音楽スタジオ大	46.0	72.5	90.4	93.5	90.4
	音楽スタジオ小1	72.6	61.4	77.4	88.2	81.9
	音楽スタジオ小2	—	35.7	48.6	58.8	66.7
	パソコンルーム	36.3	70.8	83.1	81.2	78.5
	クラフト室	48.4	72.5	79.7	90.0	78.5

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報誌、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成、顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤芸術文化による地域活性化 ⑥新たな協働による芸術文化の振興	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー1講座開催、39人受講。各種団体との連携講座開催中止、ITコラボレーター会と協働のパソコン講座開催中止 ②市民自主講座開講中止、市民講師ステップアップ講座延べ35人受講 ③ハートフルスクエアG情報誌の発行(7月) ④市民活動ルームを運営(延べ821人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(316件の相談、26件のボランティアコーディネート) 2. 男女共同参画推進業務 ①プラチナ世代応援セミナー事業など4事業開催、延べ1,866人受講。(オンライン対応有) ②岐阜市女性センターYouTubeチャンネルによる情報発信、「岐阜市女性センターNEWS」7号発行(8月)。 ③男女共同参画つながり創出事業、ハートフルネット例会を開催。 ④電話・面接相談を開催、延べ相談件数486件(電話相談:365件、面接相談:121件)。 3. 市民芸術文化振興業務 ①市民文化祭(美術展覧会・芸術祭・文芸祭)の開催及び開催に向けての準備・調整 ②市芸術文化協会と連携し、岐阜子ども文化クラブに代わる特別展の開催 ③文化会館を活用した芸術祭の開催及び開催に向けての準備・調整 ④市芸術文化協会との連携によるリレートークにおける講師の選定、創立30周年記念事業における邦楽、邦舞団体の出演調整 ⑤岐阜市芸術文化奨励賞の準備・調整 ⑥広報紙の発行(7月)、自主事業の実施(市民芸術文化・スポーツ基金文化事業助成、上期応募9件中内定3件、下期応募4件中内定3件)
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) 〃(16・13項目)(年2回) 〃(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①7/28に実施 ②5/20、7/15、9/16に実施 ③毎週水曜日に実施 7/14に実施 9/16に実施 ④下半期に実施 ⑤下半期に実施 ⑥9/4～/18に実施 ⑦5/12、7/7、9/29に実施 ⑧下半期に実施 ⑨下半期に実施 ⑩下半期に実施 ⑪今年度該当しない(次回令和4年度)
	定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備保守点検(年2回) ④自動扉保守点検(年4回) ⑤パソコン及び周辺機器保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検	定期点検業務 ①保全点検:4/28、7/28に実施、リモート点検で毎月実施 ②4/28、5/26、6/30、7/28、8/25、9/29に実施 ③6/30に実施 ④6/30、9/29に実施 ⑤4/28、5/26、6/30、9/29に実施 ⑥9/25に実施 ⑦7/28に実施 ⑧4/28.5/26.6/30.9/29

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどを行っている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：6／1～6／7、7／15～7／21、8／1～8／7、9／22～9／28 アンケート総数：154件 4月、5月は臨時休館のため、アンケートは実施できなかった	
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 6.5%、中研修室 7.8%、研修室50 10.4%、研修室30 13%、小研修室1 16.9%、小研修室2 9.1%、小研修室3 8.4%、小研修室4 11%、和室研修室1 3.2%、和室研修室2 3.9%、音楽スタジオ大 3.3%、音楽スタジオ小1 3.9%、音楽スタジオ小2 0%、クラフト室 2.6%、パソコンルーム 0% ○スタッフの対応について 満足 70.8%、やや満足 13.6%、ふつう 15.6%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 68.8%、やや満足 11.6%、ふつう 17.6%、やや不満 1.3%、不満 0.7% ○全体的な満足度 満足 71.4%、やや満足 14.3%、ふつう 14.3%、やや不満 0.0%、不満 0.0%	
利用者からの要望・苦情と対応・改善	※4月～5月は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止措置により臨時休館となったためアンケートが実施できず、アンケートでの意見・感想を集められませんでした。 ・油絵には水がないのが不便です。(小研修室4) →小研修室は会議・打合せ等での利用を想定しております。水の使用や油絵具等の画材を使用する場合は、室内に流しを兼ね備えたクラフト室の利用をご検討ください。 また、貸室の利用についてご不明な点がございましたら、2階総合受付でお気軽にお尋ねください。 ・気軽にweb予約ができると嬉しいです。(和室研修室1・2) →貴重なご意見ありがとうございます。 非営利団体であれば、公共施設予約システムの利用登録を行うことでインターネットを利用した施設利用予約が可能です。公共施設予約システムの利用方法・利用登録申請については、2階総合受付でお尋ねください。 ・スクリーンに映した際の映像が見にくく、照明を調節したかったが南北中央しかなかったので、意図した効果を得られなかった。西1列の消灯をできると良い。(中研修室) →中研修室の照明には、北、中央、南の他に黒板灯(室内西)の4種類があります。黒板灯がスクリーンに一番近い西1列の照明となっていますので、次に中研修室をご利用いただく際には黒板灯を消灯してみてください。また、部屋の利用についてご不明な点等ございましたら、お気軽に職員にお申し付けください。 ・9:00からの利用で8:45から鍵の引渡しをできるとの事だが、開館が8:50なので8:40ぐらいに早めて欲しい。(中研修室) →貴重なご意見ありがとうございます。当館の開館時間は条例で午前9時から午後9時までと定められておりますが、利用される方の便宜を図り、午前8時45分より1階南正面玄関から順に出入口を開錠しております。出入口の場所によっては8時45分以降の開錠となりますので、お急ぎの場合は南正面玄関へお回りください。 ・消毒アルコールがもう少しになっていたので補充を。(研修室50) →お知らせくださりありがとうございます。すぐにスタッフが確認し、補充いたしました。 ・以前にも要望を出しましたが、月3回までの部屋の利用制限は変わることはないのですか？ 4回利用できたらありがたいのですが…(小研修室3) →いつもご利用ありがとうございます。できるだけ多くの方に平等に利用していただく為、月3回までの予約とさせていただきます。ただし、利用希望日が1週間以内であれば、月4回以上であっても予約でき、利用することができます。何卒ご理解ください。 ・電球が切れていました。(小研修室3) →お知らせくださりありがとうございます。すぐに職員が対応し、現在は点灯しております。 ・主にトイレの床の事です。もう少しきれいにするには、毎日のモップがけの時水に少し洗剤と漂白剤入れて拭くと良いと思います。大分違うと思います。(小研修室4) →貴重なご意見ありがとうございます。 ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。トイレにつきましては、利用の少ない時間を見計らい清掃しておりますが、利用者の皆様に気持ち良くご利用いただくために清掃を徹底して参ります。 ・ピクチャーレールの使用方法について、踏み台があるとよいと思った。(イスだけでは手が届かなかったの)(大研修室) →ご意見ありがとうございます。また、ご不便をおかけして申し訳ございません。 ピクチャーレールを利用の方で、脚立をご入用の際は、脚立を貸し出し致しますので、2階受付へお申し出ください。	

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	S	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	S	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	S	S
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	S	S	S
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	S	S	S
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	S	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	S	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協推進部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	S	A	S
		区分評価			S	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	S	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み
に対する評価

新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症により、4月7日から5月31日まで臨時休館となった。臨時休館が決定するまでの間、多数の施設予約団体に対し、随時、電話で状況を説明するとともに、利用の自粛を要請した。
- ・ 利用を自粛した団体に対して、キャンセルに関わる手続きや料金について、利用者に負担や不利益が生じないよう、市の指示を仰ぎながら柔軟に対応した。
- ・ 施設の再開(6月1日から)に向けて、国や県・市の方針を迅速に把握し、新型コロナウイルス感染予防対策を以下のとおり実施した。
 - ① 厚労省が作成した「3密」回避と「手洗い」のポスターや、岐阜市長が発出した「コロナ社会を生き抜くための皆様へのお願い」等を館内に掲示し、新型コロナウイルス感染防止に向け、利用者に協力を呼び掛けた。また、受付等人が並ぶ位置や、エレベータに乗る位置を地面に表示し、人と人の距離を確保するよう努めた。
 - ② 手摺やドアノブ、窓口カウンター、トイレの便座等を定期的にアルコールあるいは次亜塩素系の消毒液で消毒した。
 - ③ 総合受付や生涯学習・ボランティア相談コーナー等、窓口全てに飛沫防止板や飛沫防止シートを設置した。駐車場窓口では、駐車券の受け渡し時に手袋を着用して対応を行った。
 - ④ 館内の出入口4カ所に手指消毒用アルコールを設置した。また、出入口のドアを常時開放して換気を実施した。さらに、廊下等の換気設備を定期的に稼働するなど空気の入替えを徹底した。
 - ⑤ 市が作成した「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」を基に、施設に応じた独自のチェックシートを作成し、利用者に周知徹底を図った。
 - ⑥ 貸室においては、既設の換気扇以外に、各部屋に工場扇(サーキュレーター)を設置し、換気の徹底を利用者にお願した。
 - ⑦ 貸室や市民活動ルームの利用団体には、手指消毒用と物品消毒用の2種類のアルコールを提供するとともに、消毒に必要な「ペーパータオル」「ビニール手袋」「チャック付きポリ袋(廃棄用)」がセットとなった「消毒セット」を提供し、確実な消毒の実施をお願いした。
 - ⑧ 車いすの貸出しや印刷コーナーの利用では、利用前・利用後のアルコール消毒を職員が行い、利用者の安全を図った。
 - ⑨ 日直が毎朝、各職員の体調とマスク着用の有無を確認し、「職員感染予防対策実施確認票」に記入することで、感染拡大防止及び利用者の安全確保に努めた。
 - ⑩ 「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」を漏れなく回収することで、着実な履行確認と、感染者が発生した際の対応に備えた。
 - ⑪ 感染防止対策を実施している証として、岐阜市が配布する「withコロナステッカー」と岐阜県が配布する「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」をそれぞれ入口に貼付し、利用者の安心につなげた。
 - ⑫ 接触確認アプリ「COCOA」や岐阜県の「感染警戒QRシステム」の活用を呼び掛け、入口に案内を掲示した。

生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。

<実施事業>

生涯学習係

- ・ 主催講座を実施するにあたり、「コロナ社会を生き抜く行動指針」と「新型コロナウイルス感染症対策実施シート」を遵守するとともに、飛沫防止板や非接触体温計の設置、ソーシャルディスタンスに対応した座席表の作成、体調チェック表を盛り込んだ受講通知の導入など感染症対策を徹底し、安心安全に参加できる環境を整えた。
- ・ ハートフルレクチャー「仕掛学～新しい生活様式に活かすアイデアのつくり方～」では、人に行動を強制するのではなく、人が自ら楽しんで動きたくなる仕組みをつくる仕掛学を学び、withコロナを楽しく実践するためのヒントを提供した。
- ・ 市民自主講座開講支援事業では、開講予定講師34名とともに準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響で中止した。それに伴い「講座紹介ポスター展」「開講講師説明会」などが中止となった。
- ・ 市民自主講座は中止となったが、活動の場を奪われた講師やまなバンク登録団体への聞き取りから「オンラインを活用して情報発信をしたい」「どのように活動したら良いのか知りたい」という声に応じて、「コロナ社会での情報発信の仕方～SNS活用術～」 「新しい生活様式を取り入れた市民講座、市民活動の進め方」を実施した。
- ・ 昨年度のセミナーアンケートから「もっと認知症について知りたい」という声に応じて、岐阜市立女子短期大学と連携して「認知症の理解」を企画したが、新型コロナウイルスの影響で中止した。
- ・ 休館中においても生涯学習・ボランティア相談をメールや電話で対応した。新型コロナウイルスの影響から、市民活動継続への迷いや悩みの相談が多く寄せられた事を受け、個人ボランティア登録者とまなバンク登録団体全てに活動状況を聞き取り、「生涯学習・ボランティア通信」に掲載することで、活動継続への後押しと不安解消を図った。
- ・ 生涯学習・ボランティア相談において、4・5月の休館やイベントの中止で活動機会が減少するなか、昨上半期と比べ相談件数52.5%(602→316)、コーディネート件数24.5%(106→26)に減少したが、確実にコーディネートにつなげた。
- ・ マスクの寄附を受け付け、84枚を活動団体にお届けした。手作りマスクを通して社会に役立ちたいという方と、マスクが不足して活動ができないという団体をつなげることができた。
- ・ 職員のスキルアップのため、ヘルプマークサポーター研修に2名、社会教育主事講習に1名が参加した。また、生涯学習上級コーディネーターの資格を1名が取得した。

今期の取組み
に対する評価

- ・6月から市民活動ルームを再開するにあたり、飛沫防止板の設置やソーシャルディスタンスに対応した座席の配置など感染症対策を徹底し、安心安全に利用できる環境を整えた。
- 文化振興係**
- ・今年度の美術展覧会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を断念し、翌年度に延期開催することとした。翌年度の安全・円滑な開催に向け事業の見直しと改善、また2年ぶりの開催に向けた企画事業の実施について、検討を進めた。
 - ・市民芸術祭は、安全に鑑賞できる舞台公演の実施が可能であるか検討を行い、今年度「洋楽の部」、「演劇の部」、「洋舞の部」の3つの部門で事業を実施する。10月から12月にかけて各部門の事業を実施予定である。
 - ・文芸祭(一般の部)全体では、昨年度に比べ応募人数・点数共に増加した。8月17日に審査を終え、11月に入選作品の展示と作品集を発行予定である。
- <施設管理>**
- ・利用者からの要望を基に、改善すべきことを検討し、以下の事項に取り組んだ。
 - ① 音楽スタジオ(大)の利用者向けマニュアルの改良
USBデバイス等を使用した際の利用方法や機器の使用に関する説明を充実させ、利用者が設備を有効利用できるようなマニュアルを改良した。
 - ② パソコンルームWi-Fiアンテナの設置
パソコンルームの機器更新に備え、Wi-Fiアンテナの設置を行い、インターネット環境を整えた。
 - ・事故防止対策として、定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、危険箇所や要修繕箇所の早期発見と、迅速な対応を実施した。
 - ① 消防設備の定期点検で、不良とされた器具(煙感知器等)については、迅速に修繕を行った。
 - ② 館内に7台設置してある電気給湯器を総点検し、交換が必要な部品を取り替えた。
 - ③ 換気設備について、経年劣化したフィルター及びエレメントの取替を実施し、より良い空気環境作りに努めた。
 - ④ 電気設備について、不良となった電気配線の取替を実施し、漏電や火災等の事故防止に努めた。
 - ・防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、不審者情報等をハートフルスクエアG全体で共有し、連携して利用者の安全確保に努めた。
 - ・新型コロナウイルス感染症予防対策として換気の徹底を図った。夏季において、常に換気することで館内の温度が上昇したが、熱中症予防のため、冷房の設定温度を下げ、温度調整を行った。
 - ・当施設を含むこの地域全体で停電が発生したが、館内の利用者全員に状況を説明するとともに、駐車場から車を出庫できない方へは、駐車料金がかからないよう配慮したことで、電力復帰まで大きな混乱や苦情はなかった。
 - ・コロナ禍において職員が密とならないよう配慮しただけでなく、危機管理の上で、夜勤では不審者対応として必ず男性職員を配置した。
- <リスク対応>**
- ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう細心の注意を払った。
 - ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。
 - ・非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、避難訓練(5月)を実施した。また、防災士/防災リーダーを中心に、緊急時・災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。
 - ・7割以上の職員が接遇研修に参加し、利用者対応の向上に努めた。また、得た知識は参加できなかった職員に伝え、全ての職員が丁寧で安心感を与える接遇を心掛けた。
 - ・職員が普通救急救命講習を受講し、AEDの的確な使用方法や体調不良者に対する正しい対応方法について学んだ。また、当センターは「応急手当協力事業所」登録施設として、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当、救急隊到着までの応急措置を行っている。
- <受入れ事業>**
- ・冒頭に記載したとおり、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し利用受入れを行った。
 - ・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施した。抽選会では、新型コロナウイルス感染症予防として、人と人の距離を確保するため大研修室を使用し、利用者の安全確保に努めた。また、予約システムへの登録を窓口・電話等で積極的に案内した。
- <その他>**
- ・応急手当協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。
 - ・快適な公共空間を提供するためぎふまち育て隊(アダプトプログラム)に参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。
 - ・事業団全体で、地元プロチーム(FC岐阜、岐阜スワープス、リオレーナ)を応援し、事業団のホームページにバナーリンクの掲載を行った。
 - ・ベルマーク運動に取り組んでいる小学校に協力するため、地元の徹明さくら小学校に使用済みのインクカートリッジ(ベルマーク5点分)やトナーカートリッジ(ベルマーク50点分)を寄付した。
 - ・文化事業助成については、助成対象事業が新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期となる現状と、文化芸術の振興と継承の視点を踏まえ、延期時期が翌年度の事業については現在の内定状態を継続し、助成対象事業として取り扱うこととした。

今期の取り組みに対する評価	女性センター 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、主催事業の開催について計画通りに実施した。 ＜実施事業＞ ・「プラチナ世代応援セミナー」は、対面形式のセミナーを中止し、動画配信による開催に変更した。撮影から編集、配信まですべて職員が行った。また、動画視聴環境のない参加者には、動画上映会を10月に計画した。 ・「そのとき！！に備えて…」は、女性センターYouTubeチャンネルによる動画啓発に変更し、動画視聴回数は、1500回を超えた。コロナ禍においても若年者から高齢者まで幅広く男女共同参画の視点で防災を考える機会を提供することができた。また、ハートフルスクエアGの通路と中央青少年会館のロビーでも上映し、視聴環境のない市民が自由に視聴できるよう配慮した。 ・「そのとき！！に備えて…」の上映と合わせて、「清流の国ぎふ女性防災士会」と協働し、避難持ち出し袋や昭和51年9.12豪雨の写真等をハートフルスクエアGの通路に展示した。また、「岐阜市洪水ハザードマップ」等の提供も同時に行ったことで相乗効果生まれ、多くの女性が関心を持ちハザードマップを持ち帰った。女性だけでなく市民の防災意識を高めることができた。 ・「女性の活躍応援セミナー」は、参加者同士や講師との距離を取り、検温、手指消毒、マスクの着用、飛沫防止板の設置など安心・安全に参加できるよう環境を整えた。また、各講師による個別カウンセリングを実施。受講者がセミナーで学んだことを活かせるように、一人ひとりの希望や能力に応じた支援を行った。 ・休館中の面接相談は電話相談で対応し、相談者の不安軽減を図った。また、施設再開後も面接相談と電話相談の選択制を導入し、相談者の利便性を図った。面接の場合は飛沫防止板を設置する等、感染予防対策を徹底し安心・安全に相談できる体制を整えた。 ・緊急事態宣言中の「健康相談」は、「健康相談STAY HOME 特別企画」と題し、多くの方がコロナ禍で苦しみ中、心や身体、育児の不安を取り除くため、SNSでワンポイントアドバイスを情報発信した。 ・ハートフルネットぎふ例会では、オンライン会議システムを導入した。結果、今まで参加しなかった会員の参加がみられ、新たなつながりが生まれたとともに、新しい視点での意見を伺うことができた。 ・昨年度に引き続き、大垣女子短期大学の依頼を受け、「男女共同参画出張セミナー」を実施した。コロナ禍で女性が直面した実態など、リアルタイムな話題を織り交ぜ、若年層への男女共同参画の啓発に取り組んだ。 ＜その他＞ ・職員の専門性を図るため、地域における男女共同参画の推進と女性関連施設相談員研修にオンラインで参加した。 ○ 地域の男女共同参画社会のあり方について今日的課題解決の視点から学び、推進の方策を考えた。（講師：東京大学名誉教授 大沢真理氏、立教大学大学院教授 萩原なつ子氏 他） ○ 困難な状況に置かれている女性を支援するため、男女共同参画の基本をや専門的知識・技能を学んだ。（講師：海老原法律事務所 弁護士 黒田典子氏、NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会 代表理事 執行照子氏 他） ・男女共同参画の啓発を継続的に行うため、女性センターYouTubeチャンネルを開設し、男女共同参画関連用語を分かりやすく解説した動画やオンラインセミナーを配信した。 ・コロナ禍での不安やストレスが少しでも軽減できるよう、地域における相談先をまとめた一覧をホームページに掲載した。
前回までの意見の取り組み状況	生涯学習センター ・講座アンケートを参考にしたり、個人ボランティア登録者や、まなバンク登録団体全てに聞き取りを行ったりすることで、市民ニーズに沿った事業展開に努めた。 ・現代的課題に対応する生涯学習講座として、新型コロナウイルスに関わる事業を展開した。 ・施設の再開に向けて、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して行い、コロナ禍であっても、安全・安心に施設を利用できるよう努めた。 ・利用団体の代表者へ直接電話し、「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」の確実な履行を依頼した。その際、利用者の声を聞き取り、不明な点や不安が取り除かれるよう丁寧に説明した。 ・実際の利用においては、利用者の負担を軽減できるよう、消毒用アルコールの提供や、消毒に必要な「ペーパータオル」「ビニール手袋」「チャック付きポリ袋(廃棄用)」がセットとなった「消毒セット」を提供した。また、消毒方法が分からない方には、職員が一緒に消毒し、正しい消毒方法を伝えた。 女性センター ・受講者が企画者となって実施する「男女共同参画つながり創出事業」は、コロナ禍においても継続的に活動できるよう、女性センターYouTubeチャンネルを活用し、オンライン上に活動の場を広げた。効果的な動画作成方法など、ひとりひとりのペースや希望に合わせ、市民と新たなつながりが創出できるよう支援した。 ・新型コロナウイルス感染拡大が影響し、特に女性に多い非正規労働者の解雇が目立った。そのため、「女性の活躍応援セミナー」において、再就職に有利な就職活動のポイントや即戦力として働ける資格の取得について学ぶ機会を提供した。

今後の取組み	- 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っていく。 生涯学習センター - 生涯学習「長良川大学」の市民大学化として、生涯学習での学びを通じて、講師として活躍する人材を育成するため、市民講師養成に関する実践的、体系的な生涯学習連続講座の準備を市と協議しながら進めていく。 - 生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら、「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく、「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し、事業の充実を図る。 - 障がいのある方の要望に応えられるよう、岐阜市障がい福祉課や特定非営利活動法人ぎふ難聴者協会等と協力して、手話通訳や要約筆記に加えて、ソーシャルディスタンスへの配慮からパソコン要約筆記に対応できる体制を整える。 - 生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、新型コロナウイルスの影響で活動が停滞している団体や個人の声に耳を傾け、活動の再開や継続の助けとなる情報の提供に努める。 - 生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 - ボランティアコーディネーション力3級や生涯学習コーディネーターの資格を積極的に取得し、相談業務および活動支援の充実と生涯学習の講座企画の充実を図る。 - 市民芸術祭の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢の変化に合わせた対策・取り組みの検討と変更を適宜行いながら、安全・円滑な事業運営に取り組む。 女性センター - 男女共同参画拠点施設として、「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した講座の充実を図る。 - 市民編集委員と作成する情報紙「織」は、更なる男女共同参画の啓発の裾野を広げるため、岐阜市立女子短期大学の協力を得て学生から委員を募る。3月の発行に向け、編集を通して男女共同参画について深く考える機会を提供し、若年層への啓発を推進していく。 「男女共同参画つながり創出事業」において、オンラインとフェスタの活動を振り返り、今後の活動にむけて個々の課題を明確にし、更なる活躍を支援していく。 「女性の活躍スキルUPアカデミー」の受講者を対象に、個々の希望に応じてカウンセリングを行う。また、「つながり創出事業」の参加を募り、起業に向けて特技や能力を活かした活動を支援する。 「男女共同参画週間事業」において、「これからのAI時代をどのように生き抜くか」をテーマとし、男女共同参画社会や女性の新たな分野への社会進出について考える学習機会を提供する。 「心とからだ・性の健康関連講座」において、男女共同参画が身近に感じられるよう、ジェンダーや人種、心のつながりを考え、人権尊重や性への理解に関する学習機会を提供する。 - 各種研修に積極的に参加し、女性センター職員として、専門性を更に高める。
---------------	---

●所管課の意見

・本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設が5月末まで閉館していたことから、当該年度の事業計画の変更を余儀なくされたが、その中で、現代的課題に対応する生涯学習講座として、新型コロナウイルスに関わる事業を展開した。具体的には、withコロナを楽しく実践するためのヒントを提供する講座を実施したり、休館中においても電話、メールでの相談業務の実施、個人ボランティア登録者などに活動状況を聞き取り、活動継続への後押しし、そのほかマスクの寄附を募り、活動団体に寄附するなど、コロナ禍においても人・団体とのつながりを維持し、活動を支援してきたことは、大変評価できる。

・開館後(6月～9月)は、利用者アンケートを毎月実施しており、アンケートに基づいて、利用者の安全を第一に考え、施設修繕、改修を行っており、評価できる。

・施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。

・文化振興業務は、市民及び団体との協働により事業が進められており、上半期は主に市民文化祭の開催に向けて準備を着実に進めている。新型コロナウイルスの影響により、事業の中止や見直しを余儀なくされたが、今までの経験やノウハウを活用して各方面と調整の上、柔軟に対応している点を評価する。事業の多くは下半期に集中しているため、新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢の変化に合わせた対策、取組の検討と変更を適宜行いながら、安全・円滑に事業の完了に向け最大限努力いただきたい。

女性センター

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設を5月末まで閉館していたことから、当該年度の事業計画の変更を余儀なくされたが、職員自らが動画編集等のスキルを身に着け、自宅で参加できるオンラインセミナーを行うなど柔軟に対応されたことは大変評価できる。

・また、職員が啓発動画等を作成し「女性センターYouTubeチャンネル」を開設。女性センターの使命である男女共同参画の啓発を、新たなツールを利用して行うなど、積極的に取り組まれていることも大変評価できる。

・当センターを利用する団体の交流の場である「ハートフルネット例会」においてもZoomを使ったオンラインと、ICT環境の整わない方にはセンターで会議に参加する方法で例会を開催するなど工夫がみられ大変評価できる。

・コロナウイルスの影響から電話相談において労働相談が増えており、働き方等が大きく変化していく中、相談者に寄り添った今後の事業展開を期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・コロナ禍において、工夫をしながら柔軟に対応し、高い満足度を維持していることは評価できる。

・利用者に使用後の部屋の消毒をしていただくことは、自身の生活にも役立つと思われることから、今後もこの体制を続けていくと良い。

・寒い時期になり、換気がしづらくなるが、Co2濃度(密かどうかの判断基準の一つ)を測ることができる機器等を利用して、数字で換気のタイミングを判断できるようにするのも良いのではないかと。